

公益社団法人滋賀県社会福祉士会

2014年度 事業報告

1 総括

滋賀県社会福祉士会は公益社団法人に移行して2年が経過しました。2014年4月1日から2015年3月31日までの本会のこの1年間の運営ならびに事業の実施状況を報告します。

公益事業の「1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業」のうち、特に、「成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み」については、家庭裁判所から「ばあとなあ滋賀」への受任要請が高まるなか、成年後見制度全般について、家庭裁判所との定期的な協議の場（弁護士会、司法書士会との連携による）を確保することができ、質の向上に向けて大きく前進することができました。また、「高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動」については、新たに湖南市が加わり契約先数は10市1町、ケース会議等へのアドバイザー派遣人数は47人となるなど虐待対応支援チームとしての役割をしっかりと果たすことができました。

「2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等」については、特に、県民向け公開講座の開催として、福祉・介護職のイメージアップを図ることを目標に掲げて取り組んだ「ソーシャルワーカーデー2014『講演会』」は大盛会でした。その成功の要因は、本会のみでの取り組みではなく、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会との共催と、（仮称）滋賀の縁創造実践センター設立準備会、公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部との後援によるコラボ効果にあり、今後のイベント展開上の大きなヒントを得た思いです。

「3. 介護従事者・介護者メンタルヘルス相談事業」については、滋賀県の補助金事業（2年目）により、福祉介護従事者を対象にした「なんでも相談」やメンタルヘルスに関連する出前講座に取り組みました。

「4. 『滋賀の縁創造実践センター』の開設への参画」については、本会の政策提言等が起点となって、地域で抱える生活課題を解決するための実践を推進する県域のプラットフォームである「滋賀の縁創造実践センター」の開設準備から関与し、開設（2014年9月1日）以降も積極的に参画しています。特に、県下各地の福祉現場から発出されるいろいろな課題（気づきシート）に対するスーパーバイザーとして、本会へのオファーが来ています。このため、2015年度早々には事業受託をしていく所存です。

2014年度事業計画の公益事業以外の収益事業、その他の事業（相互扶助等事業）についても積極的に取り組んで参りました。特筆したいことは色々ありますが、中でも、近畿ブロック研修・研究滋賀大会は、若鮎サポーターをはじめとする会員の皆様のご支援・ご協力のもと、近年にない参加者数に支えられ盛会裡に終えることができました。また、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲ（京都との協働）を実施、この3年間で1クールし、生涯研修制度と認定社会福祉士制度の推進に一定の目処が立ちました。

会計では、会費収入が主財源ですので厳しさには変わりないものの、県補助金事業への取り組みが事務局の強化にもつなげることができました。

会員数も増加傾向にあり、もうひと伸びすることにより500名も可能となってきました。最後に、本会の中期経営戦略となる次期将来構想計画（5ヵ年計画）を新たな思いで策定い

たしました。社会福祉士の資質の向上推進、魅力ある活動の展開と地域ブロック活動の充実、会務推進のための拠点機能の充実・強化、権利擁護センターぱあとなあ滋賀の充実強化、重点5分野（高齢／障害／児童・家庭／低所得／災害）の取組み推進。

今後も、本会は、公益社団法人として頑張っておりますので、会員の皆様の一層のご参加と、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

2 事業報告

【公益事業】

1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

(1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取組み

権利擁護に関する普及啓発事業をより実践的な取組みとするため、「ぱあとなあ滋賀」の活動の充実・強化を図り、月例会において事例研究等を行い、成年後見受任者としての質の向上を図った。また、「ぱあとなあ活動報告書チェック支部委託事業」により、会員間での後見活動内容の共有化を図り、また、本部における代表者会議に参加する等全国規模での後見業務の問題点等を検討する機会に恵まれ、それを会員へフィードバックすることで、今後、より一層の質の担保を図ることとした。

①ぱあとなあ滋賀の活動の充実・強化

ア. 後見活動の実施

2014年度末（2月報告）でぱあとなあ会員78名、後見147、保佐43、補助8、任意後見8、監督0、あわせて206件を受任。

後見人が一人で全責任を負うことになる後見活動内容を会員が共有し問題点を検討。

イ. 定例会の開催 毎月第2土曜日に実施

研修やケース検討等を通して、受任者のフォロー、そして倫理と質の向上を図った。

ウ. 運営委員会の開催と体制整備

ブロック別責任者が運営委員となり運営委員会を開催すること共に、組織内の役割分担を明確にして体制を整備した。

運営委員長:足立義弘 副運営委員長:澤 和清

推薦依頼:加藤芳子(彦根、長浜)平野千代子(大津、高島)

相談窓口:平野千代子

活動報告書チェック担当:吉原正栄、安藤真紀、平野千代子、小笠原美幸、小西加津代

担当理事:足立義弘、澤 和清

担当者会議・兵庫県社会福祉士会養成研修担当:足立義弘

エ. 関係機関との連携、電話相談の実施

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備した。

②県民講座の実施

県民のための成年後見制度活用講座の開催

本会と特定非営利活動法人「まちの相談室よりそい社会福祉士共同事務所」

の共催で開催し、成年後見制度の関心の高まりを踏まえ、県民の皆さんの権利擁護をさらに進め、制度を根づかせることを願って開催した。

日時 平成26年12月7日(日) 会場 湖東信用金庫本店大ホール

基調講演「権利擁護の理念と成年後見制度の積極的活用」

大阪市立大学大学院 岩間伸之教授

シンポジウム

「人として権利擁護が保障される地域社会を目指して、私たちはどう動く」

69名中、社会福祉士会会員32名

当日は約70名の参加者があり成年後見制度への関心の高さと受任ケースの紹介など熱気あふれるセミナーとなった。

③後見人養成研修支部委託事業への取り組み

前年度に引き続き、今年度も兵庫県社会福祉士会での研修に参画する。

11月30日(日)にばあとなあから澤和清担当理事、小笠原美幸会員が参加。

(2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

2009年より滋賀弁護士会とともに「滋賀県高齢者虐待対応支援ネット」を設置し、地域包括支援センターでの困難事例への相談対応や、虐待対応ケース会議での相談対応など高齢者に対する権利擁護事業に対して支援を行ってきた。

2012年10月施行された障害者虐待防止法に対応するため、「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」として改め、専門職チームとしての専門性の研鑽をはじめ、県や市町に対して支援ネットを活用した権利擁護体制整備の必要性の広報、研修会等へのアドバイザーの派遣など、支援体制の強化等に取り組んでいる。

今後、行政は勿論、県民や各種団体・機関においても、権利擁護に関する体制強化や意識高揚のニーズが一層高まることが予測される。このことから、権利擁護に関する情報の収集・発信、未契約市町への広報活動の強化、専門職チームとしての体制強化と資質の向上に努める必要がある。

<契約先市町の状況>

○2014年度契約市町(10市1町)

高島市 米原市 栗東市 草津市 彦根市 守山市 野洲市 近江八幡市

長浜市 湖南市 愛荘町

うち、米原市、野洲市、長浜市は高齢者のみ、近江八幡市は障害者のみ契約。

<ケース会議等への派遣回数>

高島市5回、米原市4回、栗東市3回、草津市21回、彦根市1回、守山市2回、野洲市2回、近江八幡市2回、長浜市2回、湖南市1回、愛荘町4回

<実施した研修>

- (1) 6月7日 高齢者障がい者虐待対応支援にかかる研修(彦根市勤労福祉会館)
- (2) 9月26日 専門職チーム研修会議(アクティ近江八幡)
- (3) 10月30日 青木佳史弁護士による障がい者虐待対応研修(弁護士会)
- (4) 3月14日 障がい者施設内虐待研修(野洲コミセン)

(3) 地域包括支援センターの機能強化に向けた支援

① 高齢者虐待対応現任者標準研修

平成26年7月12日、7月19日、7月26日の3日間に渡り地域包括支援センター職員等向けに開催した。

場所：コミュニティセンターやす

高齢者虐待防止法の理解から初動期、対応期、評価期における手順を帳票を用いて学習、演習事例を実践で学んだ。

講師：宮原弁護士、澤和清会長 足立義弘理事 中原一隆会員 関司圭秀会員、尾崎 史会員 初日32名、2日目31名、3日目29名参加。

② 研修会・情報交換会 平成26年5月17日

・研修会「介護保険改正について」 講師 市川忠稔

・情報交換会 場所：大津市民病院

・参加人数 20名

③ 研修会

・講義「介護保険法の改正と地域包括ケアシステム構築に向けた施策動向」

講師 市川忠稔

・事例検討会

助言者 福井県立大学看護福祉学部 准教授 吉弘淳一

・場所 コミュニティセンターやす

・参加人数 27名

(4) 子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催

児童虐待等子どもや家庭を取り巻く課題を学習する機会を設け、児童福祉分野に従事する会員や関心のある会員の資質の向上を図るとともに、児童福祉分野での本会が果たすべき役割について検討を行った。特に、大きく報道されたいじめ事件を受け、スクールソーシャルワークについての関心やニーズも高まったおり、この領域に関心のある者の育成が急務であり、京都社会福祉士会と協力して、スクールソーシャルワーカーの養成講座を8回程開催した。

① 第1回（スクールソーシャルワークの基礎Ⅰ、公開研修）

講師：佐々木千里会員

日時：平成26年7月8日（日）13時30分～16時30分

場所：京都社会福祉会館

② 第2回（スクールソーシャルワークの基礎Ⅱ、公開研修）

講師：野田 正人会員

日時：平成26年7月27日（日）13時30分～16時30分

場所：福知山市内

③ 第3回（学校教育現場の理解とスクールソーシャルワークの実践モデルⅡ）

講師：京都府教育委員会現任SSW

日時：平成26年8月24日（日）13時30分～16時30分

場所：京都社会福祉会館

④ 第4回（子どもの理解とスクールソーシャルワークの実践モデルⅠ）

日時：平成26年9月7日（日）13時30分～16時30分

講師：野田 正人会員

場所：京都社会福祉会館

⑤第5回（校内システムの理解とスクールソーシャルワークの実際）

講師：現任SSW

日時：平成26年10月5日（日）13時30分～16時30分

場所：福知山市内

⑥第6回（関係機関の理解とスクールソーシャルワークの実際）

講師：京都府家庭支援総合センター等現任SSW

日時：平成26年10月12日（日）13時30分～16時30分

場所：福知山市内

⑦第7回（スクールソーシャルワーク演習Ⅰ）

講師：野田 正人会員

日時：平成26年11月9日（日）13時30分～16時30分

場所：京都社会福祉会館

⑧第8回（スクールソーシャルワーク演習Ⅱ）

講師：佐々木千里会員

日時：平成26年12月7日（日）13時30分～16時30分

場所：京都社会福祉会館

2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

（1）県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及

①県民向け公開講座の開催

ア 県民のための成年後見制度活用講座の開催

本会と特定非営利活動法人「まちの相談室よりそい社会福祉士共同事務所」の共催で開催し、成年後見制度の関心の高まりを踏まえ、県民の皆さんの権利擁護をさらに進め、制度を根づかせることを願って開催する。

日時 平成26年12月7日（日） 会場 湖東信用金庫本店大ホール

基調講演「権利擁護の理念と成年後見制度の積極的活用」

大阪市立大学大学院 岩間伸之教授

シンポジウム

「人として権利擁護が保障される地域社会を目指して、私たちはどう動く」

イ ソーシャルワーカーデー2014『講演会』（三団体主催）

誰もが関心の高い“認知症”を題材にして、医師や家族、ソーシャルワーカーの立場から、福祉・介護職の役割や仕事の様子などを語ってもらい、県民の皆様に理解していただき、福祉・介護職のイメージアップと、大切な福祉の仕事についての思いを共有する。

会場内に、福祉・介護なんでも相談コーナー（一般県民向け）と、福祉のしごと相談コーナー（求職者向け）の相談ブースを設置。

日時 平成26年7月21日（月・海の日） 午後1時30分～4時40分

- 会場 ビバシティホール（彦根市竹ヶ鼻町 43-1 ビバシティ彦根 2F）
- 主催 公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会
- 後援 （仮称）滋賀の縁創造実践センター設立準備会、公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部、一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
- 内容 ①「認知症への理解と施設の役割」（視点：かくしゃく長寿を目指して～認知症の理解と予防～）
博愛会病院（岐阜）「物忘れ外来」担当医師
介護老人保健施設あいかわ施設長 淵上 哲 氏
- ②「福祉で働く人への期待」（視点：忘れても 心は生きている 男性介護者の立場から）
公益社団法人 認知症の人と家族の会
滋賀県支部 世話人・副代表 小宮俊昭 氏
- ③「ソーシャルワーカーからの活動報告」
1) 医療ソーシャルワーカーから 2) 精神保健福祉士から
3) 社会福祉士から

②社会福祉援助技術に関する研修会の開催

「ソーシャルワーカーとして大切にしていること」をテーマに3団体合同研修会を9月7日(日)に男女共同参画センターで開催した。3団体のソーシャルワーカーに話題提供をいただき、現場実践を振り返りながら、再度認識を深め、専門職としての資質の向上をめざし、また、研修を通して3団体に所属するソーシャルワーカー間の交流を深めた。

(2) 社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

制度政策研究委員会の設置

滋賀県社会福祉協議会の「地域福祉施策検討委員会」等を通じ必要な施策提言を滋賀県および滋賀県教育委員会へ行った。また、県議会各派への要請を行っている。

<本会要望事項>

1. 滋賀県内どこでも成年後見制度が活用できる仕組みづくりと市町に対する高齢者虐待対応支援のしくみの再構築

成年後見制度が十分活用できるよう、少なくとも各保健福祉圏域単位での「しくみ」づくり（サポートセンターの整備など）の支援をお願いしたい。また、滋賀県社会福祉士会と滋賀弁護士会が合同で取り組んでいる「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」への積極的な関与などを通じて、県全体の行政職員・施設職員等の虐待対応能力の向上を図るなど、迅速な解決に向けた体制作り支援をお願いしたい。

2. 市民後見人養成・市民の手で支え合える地域社会研究実証プロジェクトの創設

法律改正や市民後見養成の制度推進に向けての動きがあっても、本県でなかなか進まない現状がある。そうしたなか、県（県社会福祉審議会を含む）として「市民後見人養成のあり方」や「権利擁護の利益相反」についての方針等を示す時期に来ている。

滋賀県社会福祉士会では、ソーシャルワーク活動や、ばあとなあ滋賀による豊富な経験と実績があることから、市民後見人養成に向けて、その中心的役割（専門職等に

よるプロジェクトチーム創設、市民の手で支え合える地域社会の実現に向けて研究実証の実施など）を担うことは可能と考えている。是非、受託団体として位置づけていただきたい。

3. 子どものいじめ対策、子どもの貧困対策の充実強化に向けて（①スクールソーシャルワーカー活用のためのガイドラインの作成、②子どもの貧困対策に関わる専門機関への専門職配置の明確化）

スクールソーシャルワーカーは、不登校やいじめ、被虐待、非行などの問題に取り組むとともに、その背景にある貧困対策へ取り組む専門職であるが、その専門性をより機能的に活用するための体制整備が必要です。また、スクールソーシャルワーカーは、不登校やいじめ、被虐待、非行などの問題の背景にある貧困対策へ取り組む。そのためには、周囲の環境への働きかけやネットワークを活用して問題解決を支援する必要があり、福祉の専門的知識と相談援助後術が求められる。また支援は漏れることなく、かつ継続的に行われる必要があるため、常勤職員を配置し窓口機能を学校に整備するなど、スクールソーシャルワーカーをより機能的に活用するための体制整備が必要です。学校現場に「子どもの貧困」の視点を入れることが大切です。（SSWの配置、教員研修への関連科目追加、地域の居場所連携等）また、ソーシャルワーカーの国家資格である社会福祉士及び精神保健福祉士を任用することを原則とし、スクールソーシャルワーカーの配置指標に加えて、社会福祉士及び精神保健福祉士の比率を指標とすることが望まれる。

（3）社会福祉士の養成支援

社会福祉士養成支援委員会

少子高齢社会の進展によりますます増加する福祉ニーズに対応するため、質の高い人材の育成を目指して、社会福祉士の養成支援を行っている。

①全国統一模擬試験の実施

10月4日（土） 長寿社会福祉センター 15名

②社会福祉士現場実習指導者養成研修の運営

実践力の高い社会福祉士を養成する観点から、相談援助実習の充実・強化の一環として、実習指導者の要件に、実習指導者を養成するための講習会の受講が定められ、2012年4月から実習生の受け入れには本講習会の修了が必須となっている。今年度は、本会が主催で開催した。

日程 9月13日（土）～9月14日（日）
受講者数 29人
会場 滋賀県立長寿社会福祉センター
講師 実習指導概論 岡本芳也会員
実習マネジメント論 直木慎吾様（大阪社会福祉士会）
実習プログラミング論 原田徹様（大阪社会福祉士会）
実習スーパービジョン論 川島洋会員
アシスタント 吉川鍾子、平良久美会員

③社会福祉士国家試験対策講座の実施

7月26日～11月22日まで18科目31コマの講座を9日間開催する。
13名が受講している。

| 日程 | 曜日 | 教室 | I 10:00～ 11:00 | II 11:10～ 12:10 | III 13:00～ 14:00 | IV 14:10～ 15:10 | V 15:20～16: 20 | |
|-------|----|------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|--|
| 7/26 | 土 | 長寿C | 現代社会と福祉 口村淳 | 現代社会と福祉 口村淳 | 社会保障 市川忠稔 | 社会保障 市川忠稔 | | |
| 8/9 | 土 | 長寿C | | | 社会理論と社会システム 関司直哉 | 低所得者に対する支援と生活保護制度 大岡紳浩 | 低所得者に対する支援と生活保護制度 大岡紳浩 | |
| 8/30 | 土 | 長寿C | | | 福祉サービスの組織と経営 澤和清 | 社会調査の基礎 澤和清 | 福祉行財政と福祉計画 澤和清 | |
| 9/13 | 土 | 長寿C | 就労支援サービス 城貴志 | 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 岡本芳也 | 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 岡本芳也 | 保健医療サービス 関司直哉 | | |
| 9/27 | 土 | 長寿C | 地域福祉の理論と方法 大谷喜久 | 地域福祉の理論と方法 大谷喜久 | 相談援助の理論と方法 安田誠人 | 相談援助の理論と方法 安田誠人 | | |
| 10/4 | 土 | | 全国統一模擬試験（長寿社会福祉センター） | | | | | |
| 10/11 | 土 | 長寿C | | | 人体の構造と機能および疾病 並河孝 | 人体の構造と機能および疾病 並河孝 | 更生保護制度 森嶋友里子 | |
| 10/25 | 土 | CCやす | | | 心理学理論と心理的支援 佐藤順子 | 心理学理論と心理的支援 佐藤順子 | | |
| 11/8 | 土 | 楽修院 | 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 山田宗寛 | 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 山田宗寛 | 高齢者に対する支援と介護保険制度 吉川鍾子 | 高齢者に対する支援と介護保険制度 吉川鍾子 | | |
| 11/22 | 土 | 長寿C | 相談援助の基盤と専門職 岡本芳也 | 相談援助の基盤と専門職 岡本芳也 | 権利擁護と成年後見制度 澤和清 | 権利擁護と成年後見制度 澤和清 | | |

④実習指導者養成研修フォローアップ研修の開催

日程 延期

⑤社会福祉士養成支援委員会の開催

5月22日(木) フェリエ南草津

9月3日(水) コミュニティセンターやす

3. 介護従事者・介護者メンタルヘルス相談事業

高齢化の一層の進展に伴う介護サービスの利用増が進むなか、福祉介護職員の確保・定着が求められているが、他の業種に比べ離職率が高くなっており、その離職理由の上位を事業者や職場の人間関係に起因することから離職防止に向けた取り組みが急務になっている。このようなことから、福祉介護従事者を対象とした「なんでも相談事業」を次の通り実施した。

①専用電話による相談→毎週火・木曜日(10時～17時)に実施した。相談は2件。

②メールによる相談→メール送信日から翌5日以内に回答した。相談は2件。

③個別面談による相談→彦根会場と大津会場で計4回実施した。相談は1件。

彦根会場3月9日(月) 彦根勤労福祉会館(第2会議室)

彦根会場3月13日(金) 彦根勤労福祉会館(第2会議室)

大津会場3月2日(月) コラボしが21(ミーティングルーム1)

大津会場3月20日(金) コラボしが21(ミーティングルーム1)

④出前講座及び出前相談の実施→13事業所で実施し、参加者は延べ246名。

今年は、事業の趣旨等を事前に説明した上で、出前講座を実施し、最後に出前相談を実施した。個別相談は3名あったほか、グループ別に分かれて日頃の悩み等を聞いた。

●専門性の確保と多職種協働・連携(2件)

長浜社協ほのぼのヘルパーステーション西浅井 3月11日(水)

北雄琴デイサービス爽やかな風 3月10日(火)

●記録の書き方・アセスメントの着眼点(7件)

長浜社協ほのぼのヘルパーステーション第3事業所 2月19日(木)

NPO法人のどかの家高木 3月6日(金)

有料老人ホーム「ハーネスト唐崎」 3月19日(木)

デイサービス憩々 3月7日(土)

NPOひだまり 3月16日(月)

月輪ケアコミュニティそよ風 3月23日(月)

長浜社協デイサービスセンター 3月16日(月)

●やりがいを妨げる職場の課題(2件)

J Aゆうハート甲南ヘルパーステーション 1月30日(金)

特別養護老人ホーム姉川の里 3月27日(金)

●職場の人間関係(2件)

特別養護老人ホーム信楽荘 2月18日(水)

社会福祉法人千寿会 2月20日(金)

一方、在宅で介護している家族の方は、経済的・身体的・精神的な負担をかかえておられ、なかでも介護者が介護の悩みやストレスを抱え込むことで、家族間の関係が悪化したり、場合によっては高齢者虐待の原因になる等にもつながっている。

このようなことから、今年度、草津市の委託を受けて、介護者の悩みやストレスをできるだけ早く軽減する取り組みとして、「介護者相談支援事業」を次の通り実施した。

草津市保健センターにおいて毎週木曜日に個別面談や電話相談を実施した。

実施回数：49回

相談員：10名の相談員(社会福祉士会会員)が交替で対応した

相談件数：28件（電話相談：12件、個別面談：16件）うち再相談は8件
相談者の内訳：息子11件・妻7件・娘5件・知人1件・本人3件・夫1件

4. 「滋賀の縁創実践センター」の開設への参画

本会の政策提言等が起点となって、地域で抱えている生活課題を解決するための実践を推進する地域のプラットフォームとして「滋賀の縁創造実践センター」が2014年9月1日開設された。

このセンターの役割は、次の通り。

- ①県内各地で奮闘する相談支援の専門職の活動をバックアップする役割
- ②制度にとらわれず、福祉課題解決の方法を企画開発する場
- ③民主導の実践の推進役
- ④市町域や福祉圏域における協働のプラットフォームづくりの支援
- ⑤制度化に向けた、国、県、市町への提言機能

このため、本会としては、多くの団体に基金造成の賛同を呼びかける趣意書の発起人の一員に加わり、また開設後は「理事」として参画している。

なお、本会の団体特性を勘案して、一口のみの負担としている。

【収益事業】

1. 社会福祉事業のサービス評価

(1) 認知症高齢者グループホームならびに小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきた。

2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動している。

2009年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行った。

直近では、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることにした。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

- ①認知症高齢者グループホームならびに小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価ならびに公表
 - ☆ 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表
 - ☆ 小規模多機能居宅介護事業所の外部評価ならびに公表
- ② 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み
 - ☆ 第三者評価委員会の開催 年6回（奇数月の第3土曜日）
 - ☆ 第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施

- ☆ 県主催の調査員養成研修 2名受講
- ☆ 県主催の調査員フォローアップ研修 12名受講
- ☆ 会主催の調査員フォローアップ伝達研修 3名受講

③ 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ☆ 新規事業所に対する活動
県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送する
今年は1事業所から受託を受けた
- ☆ 既存事業所に対する活動
過去に評価した事業所、2年となった事業所、人脈のある事業所等を重点的に行う
今年は4事業所から受託した
- ☆ 新規に受託した事業所に対するPR活動
初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。
今年は2事業所で実施

○第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

| 年度 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 開催回数 | 9回 | 4回 | 1回 | 4回 | 0回 | 6回 | 6回 | 6回 |
| 件数 | 9件 | 9件 | 4件 | 13件 | 7件 | 9件 | 11件 | 12件 |

<今後に向けて>

本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり、利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

また、超高齢社会という現実の中で、地域密着型サービスは、認知症になっても、住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けるために、また今後は、在宅生活への復帰を支援するといった様々な可能性があることから、その果たす役割は大きいと言える。

そのためには、地域密着型サービスの外部評価はますます重要となる。

本会としては、地域密着サービスが地域に開かれた、質の高いものとなることを願い、調査員の質の向上はもとより、外部評価機関としての質の向上を高めていくため、専門家や他機関とも連携して活動を行う。

【その他の事業】（相互扶助等事業）

1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

（1）日本社会福祉士会生涯研修制度への対応（滋賀県社会福祉士会生涯研修センターの運営）

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要がある。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することになった。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰと基礎研修Ⅱの研修を実施した。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行った。また、基礎研修Ⅲについては、単独開催が困難な状況となり、

京都社会福祉士会開催へ講師・ファシリテーターを派遣する形での開催協力に対応している。

○生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議）の開催

5月14日（水）コミュニティセンターやす

9月18日（木）コミュニティセンターやす

（２）会員研修の実施

①新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

集合研修①：日時 2014年10月25日（土）9：30～16：50

場所 草津市立まちづくりセンター

内容 講義『社会福祉士のあゆみ』講師：澤会長

講義『日本社会福祉士会・滋賀県社会福祉士会の組織』

講師：木下事務局次長

講義『生涯研修制度』講師：磯崎会員

演習『社会福祉士の専門性について考える』講師：井上会員

ファシリテーター：高田佐介副会長・乾昌典理事・小寺信子会員・

村松政子会員

集合研修②：日時 2015年3月7日（土）9：30～16：50

場所 長寿社会福祉センター

内容 講義『社会福祉士に共通する専門性の理解』講師：村松明会員

講義『倫理綱領・行動規範の理解』講師：井上良信会員

演習『社会福祉士の倫理綱領の現場適用』講師：小寺信子会員

ファシリテーター：高田佐介副会長・磯崎圭一郎会員

修了者数：20名

②基礎研修Ⅱの実施

| 開催日 | 時間 | 科目 |
|-------------------------------|------------|---|
| 2014年5月17日（土） コミュニティセンターやす | 9:30～13:00 | ・相談援助の視座と展開過程（オリエンテーションを含む） 講師：澤会長、ファシリテーター：高田副会長、堤理事、磯崎会員、井上会員 |
| 2014年6月21日（土） 草津まちづくりセンター | 9:30～16:50 | ・実践のためのアプローチ 講師：高田副会長 ・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師：磯崎副会長、ファシリテーター：乾理事、中原会員、町野会員 |
| 2014年7月19日（土） 長寿社会福祉センター | 9:30～16:50 | 集合研修1「実践事例演習」（事前課題あり） 講師：高田副会長、ファシリテーター等：堤理事、中嶋会員、嶋田会員 |
| 2014年8月2日（土） 長寿社会福祉センター | 9:30～16:50 | ・社会資源の理解と社会資源開発（事前課題あり） ・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師：口村会員、加藤会員、柴田会員、ファシリテーター等： 杉本監事、磯崎会員、竹村会員、福井会員 |
| 2014年8月30日（土） 長寿社会福祉センター | 9:30～16:50 | ・地域における福祉政策と福祉計画（事前課題あり） ・社会福祉調査の方法と実際（事前課題あり） 講師：奥村会員、松井理事、ファシリテーター等：高田副会 |

| | | |
|-------------------------------|------------|---|
| | | 長、城会員、保井会員、福西会員 |
| 2014年9月20日(土) 長寿社会福祉センター | 9:30~16:50 | 集合研修2 ・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイザー体験 講師:海部会員、加藤会員、柴田会員 ファシリテーター等:磯崎会員、村元会員、高橋会員 |
| 2014年10月18日(土) 草津まちづくりセンター | 9:30~16:50 | ・社会福祉における法 講師:小川理事、市川理事、ファシリテーター等:高田副会長、磯崎会員、松井理事 |
| 2014年11月15日(土) 長寿社会福祉センター | 9:30~16:50 | ・ソーシャルワークと権利擁護の視点 講師:桐高会員、町野会員、ファシリテーター等:澤会長、井上会員 |
| 2014年12月6日(土) コミュニティセンターやす | 9:30~16:50 | ・実践研究の意義と方法 ・実践研究のための記録 講師:中原会員、山内会員、ファシリテーター等:小寺会員、磯崎会員 |
| 2015年1月17日(土) 長寿社会福祉センター | 9:30~12:30 | ・実践評価の方法 講師:岡松理事、ファシリテーター等:磯崎会員、城会員、松井理事 |
| 2015年3月1日(土) 長寿社会福祉センター | 9:30~16:50 | 合同研修3「実践研究発表の方法」 講師:口村会員、加藤会員、柴田会員、ファシリテーター等: 高田副会長、河岸会員、山本会員 |

修了者数 13名

③基礎研修Ⅲの実施（京都社会福祉士会と共同開催）

5月25日 同志社大学 ファシリテーター等 高田副会長、松井理事
6月29日 花園大学 ファシリテーター等 磯崎会員
7月27日 同志社大学 ファシリテーター等 松井理事
6月29日 花園大学 講師 澤会長 ファシリテーター等 足立理事
9月23日 花園大学 ファシリテーター等 小川理事
10月26日 同志社大学 ファシリテーター等 磯崎理事
11月30日 同志社大学 ファシリテーター等 松井理事
12月20日 花園大学 ファシリテーター等 高田副会長
1月25日 同志社大学 講師 澤会長
修了者数 5名

(3) ブロック活動における研修実施の推進・支援

各地域ブロックにおける研修活動を支援し、経費の助成や企画運営に関する助言等を行った。

(4) 会員によるグループ研修実施の推進・支援

入会年数別や職種別などあらゆるカテゴリーによる本会会員によるグループ研修活動の可能性を検討し、経費の助成や企画運営に関する助言などの開催支援を行う。

実年部

実年部は、年齢的な縛りはなく、自らが実年だと思われれば会員になれる緩やかな勉強

会グループです。実年ですので、各方面で豊富な社会経験を有しておられることは不動ですが、志は更に実践力を高めたい、この一点です。グループを牽引している世話人の殆どは50～60歳代ですが、知識・価値・技術の磨き上げに一生懸命で、会員各層への呼びかけも盛んで、参加された方々との交流も楽しみに活動しています。今年度の活動は下記の通りでした。

- | | | |
|---------|-------------|---------------------|
| ①勉強会 | 平成26年5月24日 | 障害年金の正しい理解のために(30名) |
| ②世話人会 | 平成26年6月5日 | 今後の事業計画について他 |
| ③実行委員活動 | 平成26年7月21日 | ソーシャルワーカーデーの企画・運営 |
| ④研修会参加 | 平成26年9月7日 | 三団体合同研修会への参加 |
| ⑤勉強会 | 平成26年11月22日 | 任意後見契約と遺言について(19名) |
| ⑥研修会参加 | 平成27年1月31日 | 近畿ブロック研究・研修滋賀大会に参加 |
| ⑦研修会参加 | 平成27年2月1日 | 近畿ブロック研究・研修滋賀大会に参加 |

(5) 近畿ブロック研修会の開催

近畿ブロック研修会の運営を担当。また滋賀県社会福祉士会主催分科会は近畿ブロック代表者会議ならびに近畿ブロック研修担当者会議における合意事項に基づき、開催した。

本年度は本県が開催地であり、中心的な役割を担うこととなり、会員の積極的な参画により研修会の企画、運営および準備を進めた。

また、実行委員会を結成し、計8回の会議を開催、それぞれの役割分担を決定するなど、当日に向けての準備を行った。

実行委員(53名。若鮎サポーター36名、役員14名、事務局3名。)を募り、当日までの準備および、当日の運営に関する中心的役割を果たした。

なお、近畿ブロック研修担当者会議を3回、査読会を2回開催し、各府県社会福祉士会の状況確認を行うとともに、分科会の企画等調整を行った。

①近畿ブロック研修会

研修会日時：2015年1月31日(土)・2月1日(日)

場所：大津市 ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター、コラボしが

大会テーマ：「誰もが光り輝く社会を目指す社会福祉士！

～もっと知りたい、伝えたい社会福祉士の活動、そして笑顔～

参加者数：213名

内容：

<1日目>

シンポジウム『社会福祉士の変わらぬ立ち位置とは』

シンポジスト 城貴志会員、宇都宮誠実会員、桐高とよみ会員

コーディネーター

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会地域福祉部長 谷口 郁美 氏

3分科会<会員実践報告>(京都・奈良・和歌山各社会福祉士会主催)

プログラム終了後、交流・情報交換会

<2日目>

分科会<各支部自由企画>(大阪・滋賀・兵庫各社会福祉士会主催)

本会は、第6分科会を企画・運営した。

第6分科会：

『障がいがある人の就労支援』～働くこと・地域で暮らすことから学ぶ～

コーディネーター 松井邦夫理事

シンポジスト

荷宮将義会員 特定非営利活動法人 就労ネットワーク滋賀 常務理事
相馬 佐保様 (精神保健福祉士)
湖南地域障害者働き・暮らし応援センターりらく支援ワーカー
本條 由美様 (介護福祉士、介護支援専門員)
社会福祉法人慈恵会ゆいの里 特別養護老人ホームゆいの里 入所サービス部部长
記念講演

『医療と福祉が共に歩むということ、滋賀の障害者福祉の実践をとおして語る』
滋賀医科大学名誉教授 島田 司巳 氏

②実行委員会の開催

- 第1回 4月24日 男女共同参画センター 参加者数13名
内容:大会概要、開催運営内容
- 第2回 6月19日 むれやま荘 参加者数2名
内容:記念講演内容打合せ
- 第3回 7月16日 男女共同参画センター 参加者数3名
内容:大会テーマ、全体スケジュール確認
- 第4回 8月23日 コミュニティセンターやす 参加者数10名
内容:募集要項、これまでの経過、シンポジウム、分科会自由企画(滋賀担当)に
期待する議論、開会式等総合司会
- 第5回 11月8日 コミュニティセンター北野 参加者数17名
内容:経過確認、スケジュール確認
- 第6回 12月22日 ピアザ淡海 参加者数6名
内容:経過確認、シンポジウム、分科会内容確認
- 第7回 1月10日 ピアザ淡海 参加者数20名
内容:現地会場下見、スケジュール・役割の確認、申し込み状況確認
- 第8回 3月28日 コミュニティセンター野洲 参加者数 30名
内容:大会総括

(6) 近畿ブロック事務局の運営

①近畿ブロック代表者会議

- 4月26日(土) 澤和清会長、高田佐介副会長、市川事務局長
8月16日(土) 澤和清会長、高田佐介副会長
10月11日(土) 澤和清会長、高田佐介副会長、市川事務局長
2月 1日(日) 澤和清会長、市川事務局長

②近畿ブロック研修担当学会議

- 6月15日(日) 高田佐介副会長 磯崎圭一郎会員
9月28日(日) 高田佐介理事 磯崎圭一郎会員
2月 1日(日) 高田佐介理事 磯崎圭一郎会員

③近畿ブロック実習担当学会議

- 4月13日(日) 川島洋会員
6月22日(日) 川島洋会員
10月18日(土) 川島洋会員
2月 1日(日) 川島洋会員

2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

(1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

- ①滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体合同研修会の

実施

各団体から1名ずつの方に「ソーシャルワーカーとして大切にしていること」をテーマに話題提供をいただいた。その後グループワークも行い、参加者の日頃の悩みや大切にしていることを話し合った。それぞれ職場は違っても、ソーシャルワーカーとして共通に大切なことがあることを学べた研修となった。

日時 2014年9月7日(日)

場所 男女共同参画センター

内容 各団体からの話題提供 グループワーク

テーマ 「ソーシャルワーカーとして大切にしていること」

参加者 34名

② 3団体代表者会議の開催

5月13日(火) 3団体代表者会議

1月14日(水) 3団体代表者会議

③ 3団体研修担当者会議の開催

5月 8日(木) 出会いの家 乾昌典理事

6月18日(水) 出会いの家 乾昌典理事

8月26日(火) 出会いの家(発表者打合せ) 乾昌典理事

9月 2日(火) 出会いの家 乾昌典理事

(2) ソーシャルワーカーデイの取り組み

これまで、ソーシャルワーカー全体への呼びかけが不十分で、社会福祉士会以外の団体との共催とならなかったが、今年度は、医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士会との共催の事業として取り組み、多くの県民の参加を得て盛会であった。参加者数92名。

(3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

(本会へ推薦依頼があり、理事会、理事・監事連絡会議で承認等を行ったもの)

① 滋賀県介護保険審査会委員(長谷川美智子会員)

② 滋賀県立学校いじめ問題調査委員会委員(富永豊会員)

③ 滋賀県いじめ再調査委員会委員(佐々木千里会員)

④ 滋賀県社会福祉協議会評議員(澤和清会長)

⑤ 滋賀県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員(澤和清会長)

⑥ 滋賀県福祉人材・研修センター運営委員会委員(佐藤順子副会長)

⑦ 滋賀県権利擁護センター権利擁護委員会委員(竹村直人会員)

⑧ 滋賀県運営適正化委員会委員(石山久子会員)

⑨ 滋賀県地域福祉施策検討委員会委員(澤和清会長)

⑩ 滋賀県権利擁護センター契約締結審査会委員(加藤芳子会員)

⑪ 滋賀県社会福祉学会実行委員(安田誠人会員)

⑫ 滋賀県連携リハビリテーション学会委員会委員(堤洋三理事)

⑬ 滋賀県健康福祉サービス評価システム推進委員会委員(澤和清会長)

⑭ 滋賀県健康福祉サービス評価システム推進委員会高齢・介護分野サービス評価推進部会委員(澤和清会長)

⑮ 成年後見制度の利用促進に関する行政職員研修会実行委員会委員(澤和清会長)

⑯ 湖北地域介護認定審査会委員(松田正義理事)

⑰ 栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会(高田佐介理事)

⑱ 長浜市地域包括支援センター運営協議会委員(澤和清会長)

- ⑱高島市地域包括支援センター運営協議会委員（谷本修一会員）
- ⑲長浜市ケアプラン指導研修チーム（宮川和彦会員）
- ⑳長浜市高齢者虐待防止ネットワーク協議会委員（澤和清会長）
- ㉑彦根市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会委員（松田正義理事）
- ㉒高島市障害程度区分認定審査会委員（仁賀俊二会員）
- 24 長浜市高齢者保健福祉審議会委員（澤和清副会長）
- 25 あさがお市民の参画による成年後見活動のあり方検討委員（平野千代子会員・町野ひろ子会員）
- 26 成年後見センターもだま運営適正化委員会委員（足立義弘理事）

3. 広報委員会の運営

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズをもとに以下の事業を行った。

①広報紙（はーと・めーる）の発行

会員への当会の活動報告と、幅広く県民に対する当会の活動の普及・啓発を行なうため、最新の福祉に関する情報も含めた広報紙はーとめーる新装3号を7月に、同4号を10月に、同5（近畿ブロック大会特別）号を発行・発送した。特に情報収集・記事作成にあたり会員の皆様のご協力や参加のもと発行することができた。

②ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、会員をはじめ県民向けの当会からの情報提供や情報公開という視点で県民にとって関心の高い福祉情報を提供できるよう検討を重ねながら管理運営を行った。研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができた。

また滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体と合同のポータルサイトの構築を通して、会員の活動や元気に働く福祉士の姿をクローズアップし、情報提供、理解・啓発を図るための活動を行った。

ブログ「滋賀県社会福祉士のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営の充実を図った。

③本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

本会の紹介パンフレットについては、より現状に即した紹介ができるよう検討を行い新規作成を行った。啓発グッズについては滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体と協働しクリアファイルおよび各団体紹介レポートを作成し、会員に配布した。今後県民や福祉の仕事希望する方、県民向け公開講座等にて配布を行うこととする。

④広報委員会の開催

委員会の構成は並河孝理事・市川忠稔理事・城貴志会員・松井邦夫理事が担当し、会議の議題によって本会会員や関係者にも参加をいただいた。開催場所を特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センター会議室をお借りし固定することで、定期的に年5回開催することができた。

- 第1回 4月21日（月）事業方針・計画の推進に向けて・はーとめーる発行に向けて
- 第2回 7月 9日（水）イージアアップ事業に伴うホームページ再構築などについて
- 第3回 9月 4日（木）イメージアップ事業・近畿ブロック大会広報について

- 第4回 11月 5日（水）はーとめーる発行・イメージアップ事業関連について
第5回 3月 9日（金）イメージアップ事業、はーとめーる発行について

4. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行った。

大津ブロック（1回開催）代表：中原一隆

- 7月 4日（金）テーマ：『～サイレント・プア～ 大津市社協CSWの活動と本音』
講師：井ノ口浩士氏（大津市社会福祉協議会）
会場：NPO法人 あさがお

湖南ブロック（5回開催）代表：城貴志

- 6月19日（木）テーマ：若年無業者の方への支援
講師：朽木弘寿氏（滋賀県地域若者サポートステーション）
会場：草津市立サンサンホール
参加者：12名
- 8月21日（木）テーマ：若年認知症の方への支援
講師：藤本直樹氏、奥村典子氏（藤本クリニック）
会場：草津市立サンサンホール
参加者：20名

10月23日（木）テーマ：薬物依存の方への支援

- 講師：箕輪氏（特定非営利活動法人 びわこダルク）
コーディネーター：山口浩次会員
会場：草津市立サンサンホール
参加者：14名

12月15日（月）望年会 8名

- 3月 5日（木）テーマ：難病の方への支援
講師：葛城貞三会員（ALSしがネット理事長）

甲賀ブロック（4回開催）代表：木村真由子

会場：水口社会福祉センター

- 5月15日（木）テーマ：26年度の研修計画と意見交換
参加者：5名

- 7月17日（木）テーマ：施設での看取りについて
講師：ヴィラ十二坊 河岸氏、山本氏
参加者：10名

- 9月11日（木）テーマ：生活困窮者自立支援法施行に向けて
講師：宇都宮誠実会員
滋賀県南部健康福祉事務所 中西大輔氏
参加者：20名

- 11月20日（木）テーマ：子どもの虐待の現状と課題
講師：久保宏子会員（キャブネス理事）
参加者：12名

- 3月19日(木) テーマ：事例検討会
参加者：10名
- 東近江ブロック(4回開催) 代表：嶋田和孝
- 7月30日(水) 交流会
- 9月19日(金) テーマ：学校におけるソーシャルワーク
講師：岨中庸子氏(竜王町役場発達支援課ソーシャルワーカー)
会場：滋賀県立男女共同参画センター
参加者：11名
- 12月10日(水) 忘年会
- 2月 3日(火) テーマ：地域包括ケアと介護保険改正について
講師：楠神渉氏(特定非営利活動法人 加楽)
会場：滋賀県立男女共同参画センター
参加者：17名
- 湖東ブロック(回開催・原則第2金曜日) 代表：村元稔
- 10月 3日(金) 英気を養う会 14名
- 湖西ブロック(2回開催) 代表：井上良信
- 9月19日(金) テーマ：生活困窮者への支援
講師：高島市社会福祉協議会事務局長 馬場八州男氏
会場：高島市安曇川公民館
参加者：11名
- 3月8日(日) テーマ：新地域支援事業を学ぶ
講師：谷仙一郎会員(元気な仲間代表)
会場：今津コミュニティセンター
参加者：7名

5. 会員の拡大

本会活動活性化のため、新しい会員を増やす取り組みとして、本会の活動を紹介し、入会の呼びかけのメッセージの入ったパンフレットを活用するなど、会員を通じて、あらゆる機会をとらまえて、本会活動の周知を図った。その結果、2014年度は33人の入会があった。一方で14人の退会があり、3月末会員数は、447人となった。組織率は、19.58%と全国平均の20.78%を下回る状況にある。

6. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組んだ。

①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所移転・整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、目標額は400万円を設定し2012年度から開始している。2

013年2月に20周年という大きな節目を迎えたことから、20周年記念事業の一環として取り組んでいる。

基金残高 1,485,720円(2015年3月31日現在)

②成年後見体制整備基金

ぱあとなあの活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ぱあとなあの活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てた。

基金残高 3,700,840円(2015年3月31日現在)

<基金取崩予定額>

2014年5月28日理事会議決分

ぱあとなあ滋賀活動報告書チェック事務に対する報酬及び交通費の支給

のべ5人 43時間(報酬単価 1時間 1,500円)

諸謝金 64,500円 旅費交通費 9,120円

2015年3月25日理事会議決分

スーパービジョン 2名 報酬55,000円旅費24,880円振込料648円

活動報告書チェック

10月 5人 報酬45,000円旅費 5,680円振込料648円

3月 5人 報酬45,000円旅費 5,680円振込料648円

合計 183,184円

7. 事務所移転・整備の検討

事務所整備には資金を必要とすることから理事会において慎重に協議をすすめ、生涯研修センター設立等にあわせて2回の会員あて寄付のお願いを行ったが、具体的な実施内容について委員会で議論を深めた。

2014年10月14日(火) フェリエ南草津会議室

8. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めていく。

①事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行うことができた。

4月(179号)、5月(180号)、6月(181号)、7月(182号)、
8月(183号)、9月(184号)、10月(185号)、11月(186号)、
12月(187号)、1月(188号)、2月(189号)、3月(190号)

②公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めた。

③諸規定の改正と規程集の発行

必要な諸規定の改正は随時行ったが規程集の発行には至っていない。

9. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

①総会への参画

通常総会

第27回 6月21日(土) 東京・鉄鋼会館(澤和清会長)

②各種委員会活動への参画

ア都道府県会長会議 9月6日(土)、7日(日)

東京・アットビジネスセンター(澤和清会長)

イ組織委員会への参画

2014年度第1回 5月31日(土) 東京・事務局会議室(澤和清会長)

2014年度第2回 7月27日(日) 東京・日本地域福祉研究所会議室
(澤和清会長)

イ全国生涯研修委員研修会議(高田佐介副会長 磯崎圭一郎会員)9月14日(日)・15日(月・祝) 東京

ウ都道府県ばあとなあ担当者会議(加藤会員)

③中央研修等への会員派遣

ア2014年度新基礎研修リーダー養成研修(東京)

12月13日(土)～12月14日(日)

イ 養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する専門職チーム研修

(吉原会員、村元会員)

10. 次期将来構想計画(5カ年計画)の策定

現行の将来構想計画(5カ年計画)の計画期間は本年度で終期を迎えることから、残された一年、しっかりと推進していくことを前提に、これまでの達成状況等の評価も行いながら、県民生活を取り巻く環境の変化から生じる福祉ニーズに的確に対応していくため、次期将来構想を策定した。

11. 総会・理事会・理事連絡会議の開催

(1) 総会の開催

①6月14日(土)

報告事項 2013年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について

第1号議案 2013年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について

連絡事項 年間事業計画について

研修会「高齢者ショートステイにおけるレジデンシャル・ソーシャルワーク—生活相談員の業務実態と援助内容の分析」 講師 口村淳会員

②3月28日(土)

報告事項

(1) 公益社団法人 滋賀県社会福祉士会中期経営戦略(第2期将来構想5カ年計画)について

(2) 2015年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画及び予算について
研修会「ソーシャルワークの定義」講師: 佐藤副会長

(2) 理事会の開催

①4月23日(水)

第1号議案 会計規程の改正について

第2号議案 謝金細則の改正について

第3号議案 生涯研修制度基礎課程 滋賀県、福井県会員相互参加協定書の締結について

第4号議案 入会者の承認について

協議事項

(1) 近畿ブロック事務局運営について

- (2) 生涯研修委員の推薦について
 - (3) イメージアップ事業について
 - (4) 介護の職場合同入職式における本会PRについて
 - (5) 監事監査の日取りについて
 - (6) ぱあとなあ基金の事務処理について
 - (7) 委員の推薦
 - (8) 定時総会について
 - (9) 後援名義の承認について
- ②5月28日(水)
- 第1号議案 2013年度第3次補正予算案について
 - 第2号議案 2013年度事業報告について
 - 第3号議案 2013年度決算について
- 監査報告
- 第4号議案 総会の開催について
 - 第5号議案 謝金細則の改正について
 - 第6号議案 成年後見体制整備基金の取り崩しについて
 - 第7号議案 入会者の承認について
 - 第8号議案 監事の選任について
- 協議事項
- (1) 寄付の申し合わせについて
 - (2) ソーシャルワーカーデーの取り組みについて
 - (3) 委員の推薦について
 - (4) 費用弁償規定について
- ③7月23日(水)
- 第1号議案 謝金細則について
 - 第2号議案 費用弁償規定について
 - 第3号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- (1) 委員会・事業部会の設置および運営に関する規則について
 - (2) 福祉・介護職員のなんでも相談事業について
 - (3) 事務所移転・整備検討委員会について
 - (4) 日本社会福祉士会アンケートについて
 - (5) HPについて
 - (6) 情報公開について
 - (7) 近畿ブロック代表者会議について
- ④8月27日(水)
- 第1号議案 謝金細則について
 - 第2号議案 委員会・事業部会の設置および運営に関する規則について
 - 第3号議案 入会者の承認
- 協議事項
- (1) 福祉・介護職員のなんでも相談事業について
 - (2) 事務所移転・整備検討委員会について
 - (3) 日本社会福祉士会アンケートについて
 - (4) 補正予算について
 - (5) 情報公開規定について
 - (6) 気象警報発令時の本会事業の対応について
- ⑤9月24日(水)
- 第1号議案 情報公開規程について
 - 第2号議案 補正予算案について

- 第3号議案 業務報告について
 第4号議案 入会者の承認について
 協議事項
 (1) 虐待対応専門研修について
 (2) 研修会用パソコンについて
- ⑥ 10月22日(水)
 第1号議案 入会者の承認について
 協議事項
 (1) 地域医療介護総合確保基金活用事業の提案について
 (2) 「なんでも相談事業」の担当者募集について
 (3) は一と・めーる近プロ大会号について
 (4) 個人情報保護規程について
 (5) 基礎研修リーダー養成研修について
- ⑦ 11月26日(水)
 第1号議案 個人情報保護規程について
 第2号議案 入会者の承認について
 協議事項
 (1) 近畿ブロック研修研究大会について
 (2) 公益法人立入検査について
 (3) 会員管理の日本社会福祉士会事務委託について
- ⑧ 1月28日(水)
 第1号議案 業務報告について(第2回)
 第2号議案 入会者の承認について
 協議事項
 (1) 近プロ大会の最終調整
 (2) 3月総会について
 (3) 基礎研修の日程について
 (4) 事務所移転について
 (5) 2015年度事業計画案について
 (6) 2015年度予算案について
 (7) 次期5か年計画策定に向けて(現計画の総括に向けて)(第2回)
 (8) なんでも相談事業について
 (9) 役員改選について
- ⑨ 2月25日(水)
 第1号議案 第2期将来構想計画案について
 第2号議案 2015年度事業計画案について
 第3号議案 2015年度予算案について
 第4号議案 総会の開催について
 第5号議案 選挙管理委員会委員の任命について
 第6号議案 入会者の承認について
 協議事項
 (1) 2015年度事業日程調整について
 (2) 日本社会福祉士会全国会議にかかる旅費負担について
 (3) 補正予算について
 (4) 滋賀県災害時要援護者支援ネットワーク会議について
 (5) 資格喪失予定者への対応について
 (6) 入会パンフレットについて
- ⑩ 3月25日(水)
 第1号議案 2014年度第二次補正予算案について

第2号議案 成年後見体制整備基金の取り崩しについて

第3号議案 入会者の承認について

協議事項

(1) 基礎研修について

(2) 委員の推薦について

(3) 来年度の「なんでも相談事業」及び「イメージアップ事業」について

(4) 滋賀の縁創造実践センター活動推進にかかる業務委託契約について

(3) 理事監事連絡会議の開催

本会の運営に関する諸課題を協議し、各委員会・事業部会の活動状況を報告する場として、理事連絡会議を定期的で開催した。

6月25日(水)、12月17日(水)